

## 令和3年度（2021年度）第2回教育委員会（5月定例会）議事録

- 1 日時 令和3年（2021年）5月11日（火）  
午前9時30分から午前10時10分まで
- 2 場所 教育委員会室（県庁行政棟新館7階）
- 3 出席者 教育長 古閑 陽一  
委員 木之内 均  
委員 吉井 恵璃子  
委員 田浦 かおり  
委員 田口 浩継  
委員 西山 忠彦

### 4 議事等

#### (1) 議案

議案第1号 熊本県立美術館協議会委員の任命及び解職について

議案第2号 熊本県障害児審査委員会委員の任命について

#### (2) 報告

報告（1） 令和4年度熊本県公立学校教員採用選考考査について

### 5 会議の概要

#### (1) 開会（9:30）

教育長が開会を宣言した。

新型コロナウイルス感染症拡大に関する報告を行った。

#### (2) 会議の公開・非公開の決定

教育長の発議により、議案第1号から議案第2号は人事案件のため非公開とした。

#### (3) 議事日程の決定

教育長の発議により報告（1）を公開で審議し、非公開で議案第1号から議案第2号を審議した。

#### (4) 議事

○報告（1） 「令和4年度熊本県公立学校教員採用選考考査について」

#### 学校人事課長

学校人事課です。報告（1）「令和4年度熊本県公立学校教員採用選考考査について」、お手元に配付しています冊子を用いて主な概要を御報告します。

なお、実施要項等については、5月7日（金）から県教育委員会のホームページに掲載するとともに、県内教育事務所等において配布しています。

それでは、まず今年度の主な変更点について説明します。表紙の枠囲みを御覧ください。今年度は大きく3点変更を行っています。

まず1点目は「専門教科等の考査時間短縮」です。昨年度から中学校教諭受考者は第2希望として小学校教諭を、また、高等学校教諭受考者は第2希望として特別支援学校教諭を受考できる併志願制度を導入しました。これにより、受考者数の増加はみられましたが、一方で、併志願者は1日に専門教科等（100分）を2コマ受考する等、負担も増加しました。そこで、専門教科等の考査時間を1

00分から80分に短縮することで、受考者の負担軽減と併志願者の増加を図っていきます。

2点目は「中学校技術の実技考査の見直し」です。これは、熊本市教育委員会等が既に導入しているものです。第二次考査初日、中学校教諭等の技術の受考者は、午前中論述、午後実技と一日中考査があり、受考者の負担が大きいものでした。そこで今回、実技考査を廃止し、技術的な観点については、論述や面接の中でおさえていくとの整理を行い、受考者の負担軽減を図ります。

3点目は「社会人を対象とした考査の受考資格の見直し」です。平成25年度実施の選考考査から制度を導入しており、導入当初は教育関係者以外の多様な人材を確保するとの考えから、教育関係者をあえて除いていましたが、他県等の私立学校教員及び塾講師等として働く方々から「自分は対象とならないのか」という問合せもあっていました。このような状況を踏まえ、今回、即戦力となり得るこうした人材も確保していくという視点から、教育関係者を除くという規定を見直しています。

以上が、令和4年度の主な変更点です。

次に、冊子をめくっていただき、右側の1ページを御覧ください。

令和4年度の採用予定数についてです。令和4年度採用予定数については、3の「受考校種・職種及び教科等」の表のとおりとなっています。表の左端「校種・職種」欄の「小学校教諭等」は、表の右端「採用予定数」欄のとおり「180名程度」の採用を予定しています。以下同様に、「中学校教諭等」が「計73名程度」、「小・中学校教諭等」で「障がいのある者を対象とした特別選考」が「4名程度」の採用予定数で、小・中学校教諭等の合計では257名程度の採用を予定しています。なお、昨年度は251名の採用予定数でした。

次に1ページの下から次ページにかけての表を御覧ください。同じく、「高等学校教諭等」全体で「34名程度」、「特別支援学校(学級)教諭等」のうち「専願」が「41名程度」、「高等学校・特別支援学校(学級)教諭等」で「障がいのある者を対象にした特別選考」が「4名程度」、「養護教諭」が「15名程度」、「栄養教諭」が「3名程度」の採用予定数であり、1ページの小・中学校教諭等と合わせて、令和4年度は354名程度の採用を予定しています。これは教員の大量退職を見据えて、本年度末の退職見込者数を踏まえて採用予定数を決定したものです。

4ページを御覧下さい。次に、採用選考考査のスケジュール等についてです。

第一次考査については「5 第一次考査」の「(1) 日程及び会場」の表に記載のとおり、7月11日(日)に新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度同様3会場、第一高等学校、熊本高等学校、熊本商業高等学校で行います。

5ページをお願いします。「(4) 結果の通知について」のところですが、第一次考査の結果は、7月26日(月)の通知を予定しています。

また、第一次考査の合格者に対する第二次考査は、「6 第二次考査」の「(2) 期日」のとおり、1日目を8月15日(日)に行い、2日目は8月16日(月)から20日(金)のうちの指定した1日に行います。第二次考査の結果については、「(6) 考査結果の通知」ですが、10月上旬の通知を予定しています。

7ページを御覧ください。志願書の受付については、「8 志願手続(第一次提出書類)」のとおり、5月17日(月)から受け付けます。新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止等により、志願書等の提出については、郵送又は電子申

請のみとしています。なお、この「実施要項・志願書」については、7ページ下段の「(3) 志願書等の請求方法」にありますように、先週7日(金)から県庁、各教育事務所等で配布を開始しています。

今回、参考までに昨年度末に配布していますカラーのパンフレットと黄色のチラシもお配りしています。

また、本年度、受考者確保のためにYouTubeを活用し、PR動画を県のホームページ及び県教育委員会のホームページに掲載し、小学校・中学校・特別支援学校の3人の若手教員に、教師の魅力を伝える取組みを始めています。

報告(1)は以上です。

#### **教育長**

ただ今の説明について、御質問等がありましたらお願いします。

#### **木之内委員**

受考者が少しずつ減っているということではありますが、毎年、どれくらいずつ減っていますか。

#### **学校人事課長**

例えば、昨年度、志願者数が全体で、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校全部合わせて1489名でした。その前の年ですが、1567名で、78名減ったこととなります。一方で、採用予定数は増やしてきており、ピークに近いと思いますが、採用数を増やしている中で受考者数が減っているということで、倍率上は課題を抱えていると考えています。

そういうことから、いろいろな見直しを行い、なんとか受考をしていただこうと考えています。

#### **木之内委員**

県として、将来的には、志願者数をどのようにみていますか。

#### **学校人事課長**

学校人事課です。採用予定数がどのような推移をするかが、倍率に大きく影響してくるかと思っています。現状では、高等学校、中学校の科目にもよりますが、一定の倍率は維持できていると思っています。課題は小学校と考えていて、2倍をきるような水準になっています。今後、採用予定数がこれ以上大幅に増えていくことはないのでは、少し改善していくのではないかと考えています。一方で、多くの人に受考していただくような取組みも継続していく必要があるかと思っています。

#### **教育長**

他に何かありますか。

#### **田浦委員**

社会人を対象とした考査に関してお尋ねします。塾の先生方は、教職員とは違い、教育者としてどうあるべきかという勉強はされていないかと思いますが、そのあたりはどう担保しますか。

#### **学校人事課長**

社会人を対象とした特別選考は、今回、私立学校や塾の先生も選考の対象とするという整理をしています。以前は、民間企業で5年以上勤務した、あるいは青年海外協力隊、日系社会青年ボランティアで2年間勤務したというような、多様な人材を選んでいくというものでした。今後も、一定数、そのような方も選んで確保していきます。

また、私立学校、塾の先生方の質の担保についてですが、熊本県の場合は、面

接を2組設けて手厚く行っており、1組が教職員としての基本的な資質がどのようなものか、あるいはマネジメントやコンプライアンスという視点で見していきます。もう1組が、2人の学校の先生方を中心に、専門性がどうかという点を、模擬授業等も通して見ていきます。お尋ねの点は、1点目の、基本的資質を見るところで、社会人受考者に関してもしっかり見ていこうと思います。

#### 田口委員

併願を認める方向は良いことだと思います。

他県で実施されていて、熊本県で実施されていない制度の中で、例えば、中学校数学と高校数学の併願があります。優秀な方がたくさん来られ、受考者数が増えるということと、一旦はどちらかの校種で採用となっても、その後には別の校種に行っていただくことにつながるのではと思います。

もうひとつ、今年度から、福岡市が採用試験のシステムを変えて、教育実習の中で非常に優秀な方から合格者を決めるという制度を作っていますが、熊本県としてはどう考えていますか。

#### 学校人事課長

学校人事課です。中学校と高校数学の併願については、今のところ、具体的な検討は始めていません。貴重な御意見をいただいたので、今後、全体を見ていく中で検討項目として考えていきたいと思っています。現時点では、具体的な検討までは至っていません。

福岡市の件も情報等を収集しながら考えていきたいと思っています。現時点では検討していません。

#### 田口委員

教育実習の中での見極めは難しいかもしれませんが、すでに任用されている臨採の先生方の中で非常に優秀な方については、一次を（一部）免除する制度があります。今、管理職や教育委員会の先生方が、臨採での勤務状況等をきちんと確認された上で、「この方なら大丈夫ではないか」という見極めも可能ではないかと思っています。

臨採として任用された後、子どものため学校のために一生懸命働かれて、採用試験の勉強時間が削られているという先生もいます。ある程度の学力保障、最低限の力は必要であります。教員としての資質能力は臨採の中でもしっかり見ていけるのではないかと思います。臨採に手を上げない方も増えている現状で、臨採で一生懸命やると正規採用につながる可能性がかなり高まるのであれば、臨採の方や教育委員会両方にとって、良いシステムになっていくのではないかと思います。御検討いただければと思います。

#### 教育長

他はよろしいですか。

#### 西山委員

今、話がありましたが、教員採用への門戸を広げるということで、併願、社会人実務家等を対象に広げていくことは良いことだと思います。合わせて、委員の方の発言もありましたが、資質能力の向上、あるいはそういう教員としての理念や考え方、そういうものの研修もしっかり充実をしていかなければならないし、していただきたいと思っています。

そこで、このチラシを見たときに、初任者を支える研修の充実とあり、「教育センター内動画コンテンツ164本」とありました。どういうものかと思い、教育センターのホームページを見ましたが、この研修動画については見つかりませ

んでした。しかし、ICT教育に向けた、義務教育、小学校、中学校、あるいは高校の動画が非常に多くあることを発見しました。英語教育のコンテンツについても多くあることを発見しましたが、もう少し分かりやすいICTの、自ら学ぶ部分のポータルサイトを作っていただくと良いと思いました。今コロナ禍でいろいろな制約がありますが、ICTは非常に使えるので、みんなが勉強したいと思うときに、玄関が欲しいなとつくづく思いました。コンテンツは多くあり、NHKの番組もあって、いろいろなものがあるなと改めて感じましたので、その部分をもっと強化して、熊本県が目指すICT教育日本一、英語教育日本一に向けた部分を強化できればありがたいなと思います。採用から話が離れるかもしれませんが、お願いをしておきます。

また、初任者の研修のサイトにつながるバナーが貼ってあるようなポータルサイトを作ってもらえると、もっとみんなが自ら学ぶ主体性を持った学習が身につけていくのではないかと思います。

合わせて1点、それぞれのコンテンツを見終わった後に、難しくない5者択一といった選択回答形式等での簡単なアンケートも作っていただき、そのコンテンツがどのように評価されているか、どれくらいの方が見ているのか、把握できればいいと思います。そこに合わせて、家庭学習ノート等に見たものの感想等も書いて提出すると、学びの共有化が出来て非常に良いと思います。コンテンツの準備はずいぶん出来ているので、非常に恐縮ですが、意見をしておきたいと思います。

#### 教育長

古田局長からお願いします。

#### 市町村教育局長

昨年度、教育センターにいましたので回答します。参考となる御意見ありがとうございます。164本の中には、初任者のみに配付しているパスワードで入るものも含まれています。一方で、県民の皆様へ一般的に公開している動画も別にありますので、委員が見られた分は公開している分だと思います。今、1人1台の端末も配られており、初任者の方が自主的にコンテンツを活用していけないか、センターで整理して検討し、考えていきたいと思っています。

#### 教育長

他はよろしいですか。

#### 吉井委員

障がいのある者を対象とした特別選考がありますが、毎年、どれくらい応募があって、どれくらい採用がありますか。

先日、テレビ番組を見ていたところ、熊本県が紹介されていて、黒石原支援学校のマツモトサキ先生という聴覚障害、全身まひの障害をお持ちの先生が紹介されていました。とても感動的な内容で、この先生だったらどこにいても、そこにいっただけで、存在が子ども達に感動を与え、先生みたいに頑張ろうと思えるような先生が採用された内容でした。そのような先生が増えてくると、違った意味で教育のためになるのではないかと思います。

#### 学校人事課長

学校人事課です。昨年度、受考者が2名、合格者が1名でした。その前の年が、6名で3名合格、その前が2名で1名合格、その前が1名で0名と、年度によってばらつきがあります。枠に比べると、受考者は多くないという状況ですが、ここ最近では合格者がでており、採用して頑張らせていただいています。

先ほどの方は、橋本紗貴さんのことで、黒石原で頑張っていると聞いています。

**吉井委員**

採用が増えれば、障がいを持った方で、それでも先生になりたいという方も増えてくるかと思えます。少しずつ増えてくればなと思えます。

**教育長**

他はよろしいですか。

ありがとうございました。

**教育長**

本日本日予定されました議事については以上のとおりですが、その他で何かありますか。

**教育長**

はい。ありがとうございました。

引き続き今後ともよろしく申し上げます。

## 6 次回開催日

教育長が次回の定例教育委員会は令和3年（2021年）6月1日（火）教育委員会室で開催することを確認した。開催時間は、午前9時30分から。

## 7 閉会

教育長が閉会を宣言した。午前10時10分。